

平成26年度

練馬区立光が丘第八小学校

【 家庭科 】

	指導の配慮点 (授業規律・発問・板書・個別指導・ノート指導など)	観点別の授業改善の視点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	生活を創意工夫する能力を向上させるための手だて	生活の技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導入	<p>(授業規律) あいさつ・話の聞き方・持ち物の確認をし、授業規律を確立する。</p> <p>(授業規律) 安全面、衛生面の指導・徹底をはかる。</p> <p>(板書) 本時の題材名とめあて(ステップ1・ステップ2)を黒板に掲示し、課題をつかませる。</p> <p>(教材提示) 本題材に関する教材は段階ごとに掲示しておく。視聴覚機器を使い、模範指導をする。</p> <p>(自力解決の手だて) 本題材に関する教材・掲示物・カードの説明をし、自力解決の手だてをつかませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な基礎基本の知識や技能であることを知らせる。 日常の生活の中で実践していくことにより、知識や技能が身に付くことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活の中から体験していることを結びつけて考えられるようにする。 前時までの学習や生活体験を思い出させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> お助けカードや段階見本などの資料作りをする。 視聴覚機器を使い手先の動きを見せる。 学習カードにより、本題材の見通しをもたせる。また、授業のはじめに今日のめあてを確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教具や実物を用意し、ゆっくり丁寧に指導をする。また正しく理解しているかを確認する。 テストなどを実施し、知識・理解の定着を図る。
展開	<p>(学習カード) 各自の本時のめあて・活動・作業を確認後、学習カードに記入させ、学習の見通しをもたせる。</p> <p>(模範指導) 全員またはグループごとに集め、指導する。</p> <p>(自力解決) ステップ1がすぐに達成できた・・ステップ2を提示する。自力解決をしようとしている・・資料を提示し支援する。資料を見てもわからない・・できている友達と相互解決の支援をする。 どうしていいかわからない・・ゆっくり丁寧に再度模範指導をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の考えのよさを教師が認め、意見を発表しやすくする。 机間指導では、その場で分かりやすく具体的に評価して、個々の意欲を引き出す。 何のために活動をやっているか何を学んでいるかを明確に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題が適切であるか確認し、見通しをもたせるようにする。 良いもの・すぐれたものを見抜く力を身につけさせるために、相違点や共通点を意識させ、発問の工夫をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 1人ひとり丁寧に技能チェックをし、向上・定着を図る。 正しく作業をしている児童に即時評価をし、学級にその技能や態度を広げていく。 資料を見て自力解決しようとしている児童を紹介し、主体的な学びへと導く。 何をしてもいいかわからない児童にはゆっくり丁寧に説明したり模範指導したり、段階見本を見せたりしながら指導・支援をする。 ステップ1・ステップ2が容易に達成できた児童には発展的な課題を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導した知識や理解を確認するようにする。 知識を獲得するためのワークやまとめのプリントを工夫していく。 一斉指導の中で復習する時間を設定する。
まとめ	<p>(授業規律) 教師指示で活動をやめ、道具などの片づけをする。</p> <p>(授業規律) 使ったものは元の所にきちんと返しているか、ごみは落ちていないか確認させ、整理整頓や掃除をさせる。</p> <p>(学習カード) 各自の本時のめあて・活動・作業の確認をさせ、本時のふり返りをする。次時につながることを書くようにする。</p> <p>(評価) 学習カードに自己評価の欄を設け、自己評価や友達への相互評価(友達のよさ)も記入していくようにする。</p> <p>(授業構成) 今日のめあてが達成できたか確認する。次時の課題の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 後片づけの大切さがわかるような指導をし、自主的に整理整頓ができるようにする。 簡単な自己評価や友達への相互評価(友達のよさ)も取り入れ、今日の学習をふり返るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価のできない児童には、今日の課題と比べさせ、何をどのように書けばいいのか、くり返し指導していく。 感じたことを短い文で書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能の向上している児童をほめ、集中して話を聞くことにより、正確に聞き取ることができ、技能も向上する結果につながることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことをまとめ、1時間で何を学んだのか、コメントを書く。 家庭学習に取り組めるように課題を出し、知識理解の獲得を図る。